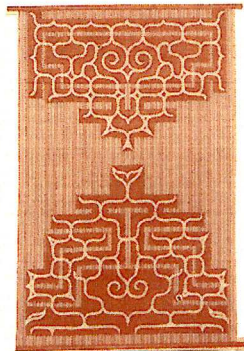


はくぶつかんネット

第6号

～ GINOWAN MUSEUM ～



▲ アイヌ文様刺しゅう

2001年

11・12月

奇数月の15日発行
(次号は1月15日)

発行：宜野湾市立博物館
〈TEL〉 098-870-9317
〈FAX〉 098-870-9316
〈ホームページ〉 <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>



博物館イメージキャラクター
天女ちゃんと察度

北の大自然が育んだアイヌの伝統美

－ アイヌ伝統工芸展 －

きぼ 木彫り・アットゥシ織り・アイヌ文様刺しゅうの匠

2001年

～ 11月17日(土)・18日(日)・19日(月)まで開催 ～

入場無料

午前9時～午後5時

3日間

アイヌ民族は、さまざまな生活必需品や祭具などを製作する中で、素材選びや樹木の利用に関する、深い知識と伝統的な技法・美を生み出してきました。

今回、北海道より4名のアイヌ伝統工芸作家をお招きし、盛り沢山の楽しいイベントを予定しています。

- ・ アイヌ伝統工芸作品の展示
[木彫り・アットゥシ織り(樹皮織り)・アイヌ文様刺しゅう]
- ・ アイヌ伝統文化のビデオ上映
- ・ アイヌ民族衣装の試着体験
- ・ アイヌ伝統玩具で遊ぶ体験
- ・ アイヌ伝統工芸(文様刺しゅう・木彫り)の制作実演
- ・ アイヌ文様刺しゅう・アイヌ伝統楽器(ムックリ)の制作講習(体験)

アイヌの精神文化や、伝統工芸技術の一端にふれてみませんか？
みなさまの参加、お待ちしております。

常設展示室

◆ 『宜野湾人の顔』のご案内 ◆

常設展示室入口にある、『宜野湾人の顔』をご存じでしょうか？
この展示は、市内の先輩方(明治・大正・昭和生まれ)と、子ども(小学生)たちを対象とした顔写真からなっており、現在の宜野湾人を紹介しています。

『宜野湾人の顔』コーナーがある、エントランスホールの展示を見ると、人類の進化や、時代による人の顔の移り変わりを知ることができます。

『宜野湾人の顔』は、開館当初から市内の各自治会の協力を得て、約3ヶ月ごとに展示替えを行っています。現在、喜友名区の明治～昭和生まれ8名、小学生7名の計15名の顔写真を展示中です。この展示は11月25日(日)までとなっております。その後は、世界のジノーンチュ(宜野湾市出身の移民)や、普天間2区の方々を紹介する予定です。

『宜野湾人の顔』の展示を見学する際には、常設展示室観覧料が必要となります。



▲ 展示の様子

教育・文化週間について

11月1日(木)～7日(水)までの一週間は、教育・文化週間で、通常は有料である市立博物館の常設展示室を、無料で開放しました。

また、その期間中に文化課が主催した『宜野湾再発見コース』の中で、「宜野湾の自然」を、当博物館学芸員の中里が担当し、嘉数高台、我如古ヒージャガー、大山ターンム畑の3ヶ所を案内しました。

教育・文化週間は終了しましたが、まだまだ文化の秋です。博物館に足を運んでみませんか。



▲ 我如古ヒージャガーの見学

体験じゅく

『わらばー体験じゅく』の中間報告



▲ 昔の子ども体験での一コマ
水くみの体験中。
バランスが難しかった。

6月にスタートした「わらばー体験じゅく」も、11月に入り半分を折り返しました。これまで博物館見学、宜野湾の昔めぐり、ターンムの植え付け、昔の子ども体験、豆腐づくりと、いろいろな体験をしました。

メンバーのみんなも、最初はハジカサーしておとなしかったのですが、回を重ねるごとにだんだんウーマクーになってきて、元気は良いのですが、少しまとまりが……。それでも、毎回みんな楽しく体験しています。

「わらばー体験じゅく」は2月まで自然観察、ターンムの収穫、土器づくり、沖縄そばづくりと続いています。

たくさんの寄贈、ありがとうございました

博物館では、宜野湾を中心とした、さまざまな生活用品や当時の暮らしが分かる道具などの収集に力を入れています。今年度も市内外の方々のご協力により、4月から10月31日までの7ヶ月間に、たくさんの資料を寄贈していただくことができました。その数は、242点になります。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ○島崎 操（真志喜）：ピン 11点 | ○大城 春（愛知）：ミーショーカー1点 他3点 |
| ○佐喜真 慎重（神山）：米軍製衣服 6点 | ○上原 謙（糸満市）：ウミバウ（海箱）1点 他61点 |
| ○小渡 良純（真志喜）：タバコブツ3点 他2点 | ○新田 賀信（伊佐）：フール（便所）の模型1点 |
| ○嘉数 清（喜友名）：はかり1点 他1点 | ○喜屋武 菊（新城）：鯉節削り1点 |
| ○仲本 安喜子（赤道）：中国紙幣22点 他1点 | ○屋良 朝光（野嵩）：カメラ 1点 |
| ○伊佐 武雄（大山）：チューカー 1点 | ○真志喜 正信（喜友名）：石トーン 1点 |
| ○宮里 光夫（喜友名）：計算機1点 他1点 | ○佐喜真 昇（神山）：打刻機1点 他6点 |
| ○真志喜 康徳（南風原町）：野戦力バン2点 他70点 | ○市文化課より移管：蔵骨器（厨子がめ）31点 |
| ○市環境衛生課より移管：トートメー3点 他2点 | ○信岡 豊子（普天間）：重箱1点 他6点 |

～みなさま、ご協力ありがとうございました～

今回寄贈していただいた資料は、平成14年6月開催予定の「第3回新収蔵品展」にて、展示させていただきます。

◆ひきつづき、資料の収集もおこなっております。これは！と思うものを、お持ちの方、博物館までご連絡ください。職員が、すぐに駆けつけます。

ご協力、ありがとうございました

平成13年度も半ばを過ぎました。その間、市立博物館ではさまざまな事業を行ってまいりました。各事業には多くの方々に、ご協力いただいております。

新垣義夫（第1回講演会の講師）

佐喜真弘政・仲村新淳（第1回講演会のバス運転手）

宮城正則・宮城豊（第2回・第3回わらば体験じゅくのバス運転手）

喜友名区自治会長（宜野湾人の顔、宜野湾の昔めぐり：第2回わらば体験じゅく）

石川重正・伊佐寛雄・石川盛次・宮城徳康（ターンムスの植え付け：第3回わらば体験じゅくの講師）

高原建二・尾川原正司・佐々木健志（大山の自然展、大山自然観察会の講師）

宮城正則・伊佐友孝（大山自然観察会のバス運転手）

山城聖市（昔の子ども体験：第4回わらば体験じゅく）

喜屋武菊・比嘉文子・島崎真由美（豆腐づくり：第5回わらば体験じゅく）



～ご協力、ありがとうございました～

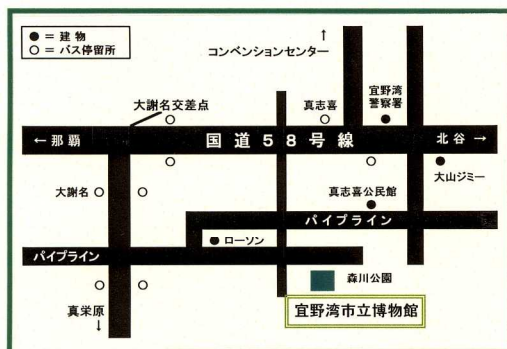
平成13年度の事業あんない

月	日	曜日	内 容	期 間
11	17	土	企画展「アイヌ伝統工芸展 ―北の大自然が育んだアイヌの伝統美―」 ○ 期間中に、工芸作品の制作実演、アイヌ文様刺しゅう・ムックリの制作講習、ビデオ上映など、イベントが盛り沢山です	11月19日まで ※3日間
1			企画展「宜野湾の食と年中行事（仮名）」 ○ 期間中に講演会・講習会を予定しております	2月まで

※ 日時は未定の場合がありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098 - 870 - 9317

FAX : 098 - 870 - 9316

ホームページ : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

[city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf](http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf)

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の
午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで

◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日（6月23日）、
年末年始（12月29日～1月3日）

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

◎ 常設展示室 観覧料

	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	200円	100円	50円
団体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上から



★ 博物館のホームページを開いてみよう！

今年6月から、博物館のホームページを開設しています。主な内容は博物館案内、行事の最新情報、はくぶつかんネットのバックナンバー、わらばー体験じゅくの情報などがあります。ホームページ上では、第1号から最新号まで、はくぶつかんネットをカラーで見ることができますよ。

各地でIT講習会が開催されています。インターネットの練習として、博物館ホームページも開いてみてください。きっと、いろいろな情報を得ることができると思いますよ。

◎ ホームページアドレス → <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>